

令和7年度 第1回帯広市図書館協議会 議事概要

1 日時 令和7年5月15日(木) 18:30～19:15

2 会場 帯広市図書館 3階 会議室

3 出席者

委員 鴨田委員、久保田委員、萩原委員、吉田委員、ロメロ会長(以上5名、
岩間副会長、高橋委員は欠席)

事務局 村木生涯学習部長、永田図書館長、大林図書館副館長、中村図書係長
(以上4名)

4 会議次第

(1) 任命状交付(萩原委員)

(2) 生涯学習部長挨拶

(3) 議事

①令和6年度事業報告

②令和7年度予算・事業概要について

③その他

(4) 閉会

5 議事要旨

①令和6年度事業報告 <事務局より説明>

【委員】

学校公共図書館研究会における、図書委員の交流会について聞きたい。

【事務局】

自分の学校図書館の良さや活動について共有したり、グループに分かれてミニビブリオバトルを行ったりしている。文化系の部はなかなか交流の機会がないので、良い取り組みだと感じる。

【委員】

“本屋大賞”のように、中学生が「この本は面白い」というようなPRができれば、より図書館に足を運んでもらえるかなと思う。

【委員】

「デジタルで聴く明治・大正・昭和の音」とは具体的にどのようなイベントか。

【事務局】

レコードなどの失われていく媒体の音源をデジタル化し、国立国会図書館で公開してい

るものを、公共図書館等が利用登録申請を行うことで、館内で視聴できるようになるもの。

【委員】

PR すればもっと利用してもらえと思う。

【委員】

イベントや展示によっては、このような懐かしい音源に興味がある年代が集まると思うので、そのような機会にポスターを貼るなどして周知すると効果的では。

②令和7年度予算・事業概要について <事務局より説明>

【委員】

図書資料整備費の予算のなかで、電子書籍が2割程度を占めている。現物の本と電子書籍をどのくらいの割合で整備していくかの方針はあるか。

【事務局】

電子書籍は、期間や閲覧回数の制限がある。また、すべての本が電子化されているわけではなく、整備については手探りの状態である。電子図書館導入から5年目となったので、具体的にはこれから決めていくことになる。

【委員】

電子書籍は保存の場所をとらないなどの利点もあるが、資料保存の観点から課題があると感じている。

【委員】

学校に一人一台端末が導入され、電子書籍を朝学習の時間によく活用している。子ども向けの本などを充実してもらえるとありがたい。

【委員】

子ども向けプログラム推進費に予算措置しているブックリストとはどのようなものか。

【事務局】

健診時にブックリストを配布しており、数年間分まとめて作成している。

【委員】

長崎屋の駐車場がなくなったことで、図書館の駐車場の状況は。

【事務局】

曜日や時間帯によって混み合っている。図書館の駐車場利用は3時間までとしているが、従来、時間を超えた場合に1階で認証を行っていたものを、事務室で手続きをするように改めた。

③その他

なし

<閉会>